




















ネット選挙解禁でできること

ネットで選挙運動ができる人

	 候補者	 政党	 一般有権者
 ウェブサイト			
 SNS			
 電子メール			
 有料ネット広告			

解禁される情報発信方法

(C) livedoor NEWS

HP、ツイッター、FB、LINEをつかった選挙運動は自由です

ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブック、ラインは選挙中も、選挙前も自由に出来ます。ただし、投票日当日の選挙運動は出来ません。

- ブログ…投票依頼も自由に出来ます。
- ツイッター…ツイートしても、リツイートしても、メール（※）してもかまいません。
- フェイスブック…自分が発信しても、いいね、シェア、メール（※）してもかまいません。
- ライン…トークしても、タイムラインにアップしてもかまいません。

※それぞれのアプリに付属しているもの

電子メールをつかった選挙運動は出来ません

電子メールをつかった選挙活動は、政党、候補者がある条件のもとで出来るだけで、一般有権者は禁止されています。ショートメール、メーリングリストをつかってもダメです。

公選法をよく知ってネット選挙を勝ち抜きましょう!!

そうだったのか、公職選挙法

選挙運動とは？

一般的に選挙の公示（告示）から投票日午前零時までには特定の候補者を当選させるために行う行為で、公選法によってしばられています。この期間は投票が終わるまで政治活動も制限されます。

政治活動とは？

特定の政治的主張や見解を広げ、支持を広げる行為は、憲法のもとでまったく自由ですが、公選法の関係では告示、公示前も制限されるものがあります。「事前運動」といわれるものです。

事前運動と政治活動

「〇〇に一票を」「〇〇に投票して」というのは投票依頼にあたり、事前運動とされNG。

「〇〇をよろしく」「〇〇を応援して」は政治活動でOK。

つまり以心伝心はOKだが、直接話法で訴えることはNGだということと理解して下さい。

NGワードについては、日常会話にまで神経質になる必要はありませんが、文書・ネットなどにあとに残るものは要注意です。

「これは大丈夫かな？」と思う表現に迷ったら、必ず選対に問い合わせるようにしましょう。

選挙になったら堂々と投票を依頼しよう。

選挙になったらネットや電話、個々面接で投票を依頼しましょう。公示、告示の翌日からは期日前投票が出来るので、投票に行ってもらいましょう。